



緊急調査を終えた雄橋

### 国天然記念物「雄橋」緊急調査完了

帝釈峡のシンボルでもある雄橋は、「藝藩通志」などによれば古くから生活道としても利用されていたといわれていますが、今は植物が生い茂り、石灰岩の割れ目にしみ込んだ雨水などによる浸食も少しずつ進んでいると考えられています。

しかし、雄橋の節理の進行状況や植物の周辺環境から受ける影響などは未調査であり、適切な保護対策を決定する基礎データがない状態でした。このため、国および県の補助を得て、平成17年度から鳥取大学の赤木三郎名誉教授をはじめとする専門家チームにより、雄橋を中心とする帝釈川流域の地質・地形・植生の総合的な緊急学術調査を進めてきました。

本年度、調査は無事終了し、近く報告書が刊行されます。今後は調査の成果を「雄橋」の保存活動に活かしていきます。

# 文化財を活用した地域づくり

生涯学習課文化振興係  
☎0824-73-1189

広大な市内に広がる、国天然記念物「比婆山のブナ純林」をはじめとする美しい自然。かつての巨大産業「たたら製鉄」の面影を残す里山景観。国重要無形民俗文化財「比婆荒神神楽」や「塩原の大山供養田植」。これらの文化財は、長い年月をかけて祖先から受け継いだ、私たち市民の大切な財産です。

市内の指定文化財は、国・県・市の指定を合わせると230件にのぼります。これらの文化財を有望な地域資源として活用するため、文化財所有者や地元の皆さんと連携して、貴重な文化財の保存・修復事業に取り組んでいます。

### 「壽福寺禅堂」で挿しカヤ補修

東城町新免にある県重要文化財「壽福寺禅堂」は、16世紀に建立された戦国時代の建物です。室町後期の優れた仏堂として、同時期の類似の仏堂は中国地方のほかには例がなく貴重のため、昭和59年に広島県の重要文化財に指定されています。

このお堂は、独特のカヤ葺き屋根が魅力ですが、カヤの腐食が進んでおり、内部への雨漏りが心配されていました。

本年度、県の補助を得て腐蝕したカヤ材を交換・補充する「挿しカヤ」の方法で補修することになりました。工事は年度内に完了しますので、ぜひ見学に行ってみてください。



壽福寺禅堂

### 文化財を核とした地域づくり

市内では、自治振興区をはじめ多くの住民グループが、文化財の保護・活用に取り組んでいます。

東城の小奴可自治振興区(名越峯壽区長)では、県天然記念物「小奴可の要害桜」と市史跡「亀山城跡」の周辺を整備し、比和の三河内地域振興会(田中稔会長)は戦国時代の地域領主「三河内大膳守通忠公」の居城であった「三子山城跡」や登山道の整備を行い、観光と交流の拠点づくりを行っています。

また、総領の節分草保存会(中谷昭夫会長)は、市天然記念物「セツブンソウ」の保存を続け、多くの観光客を呼び込んでいます。



登山道を整備する三河内地域振興会

### 「熊野の大トチ」樹勢回復

西城町熊野にある国天然記念物「熊野の大トチ」は、国内でも有数のトチの巨樹です。映画「ヒナゴン」のロケ地にもなるなど、多くの見学者に親しまれるようになりました。しかし一方で、急速に樹勢の衰弱が進み、放置すれば枯死を免れない状態になっていました。

今年度、国および県の補助事業を活用し、所有者(廣澤悦二さん)や地元の神話の里むらづくり推進協議会(田中雅嶽会長)の皆さんとともに樹勢回復事業に取り組み、このほど作業が無事完了しました。



工事を終えた熊野の大トチ



修復準備が進む堀江家住宅



修復を受ける荒木家住宅

### 木造建築の教科書 古民家の修復に着手

比和町森脇にある「荒木家住宅」と高野町中門田にある「堀江家住宅」は、ともに国重要文化財に指定されており、中国山地の民家の歴史を江戸時代の初めごろ(17世紀代)にまでさかのぼって知ることのできる全国的にも貴重な建物です。また、この地方に古くから伝わる高度な大工の技術を学ぶことのできる、木造建築の教科書ともいえる存在です。

昨年の記録的豪雪によって、荒木家住宅ではカヤ葺き屋根が大破し、堀江家住宅でも軒先のカヤ材がずり落ちるなどの被害を受けました。この2つの文化財建造物の修復工事が、このたび国および県の補助事業として採択され、11月末から2カ年の継続事業として工事に着工しました。

平成19年度には、本格的な屋根の葺き替え工事が始まり、数十年に一度の大事業となります。